

浅井北だより



令和2年 12月号

☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

「がんばる君が みんなを笑顔に」

天候が不安定な中でしたが、11月7日(土)には、無事運動会を終えることができました。こうして開催することができましたのも、保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご理解あってこそと感謝申し上げます。小雨の中、参観いただく場面がありましたこと、お詫び申し上げます。

今年度はさまざまな制約のある中でしたが、子どもたちは自分たちのもてる力を伸ばそうと、日々練習に励みました。また、4~6年生は、準備や清掃、片付けなど縁の下の力持ちとなって熱心に活躍する姿が見られました。2種目のみの披露でしたが、どの子も最後まで一生懸命取り組む姿が印象的でした。また、徒競走では一人一人名前を紹介し、応援の場面では、互いの動きを気遣ったり録音された音声を使って盛り上げたりと、一人一人のがんばりが伝わる運動会となったのではないかと思います。

「がんばる君がみんなを笑顔に」この合言葉通り、一人一人のがんばりが大きな力となり、見ているこちらにも胸が熱くなりました。子どもたちとともに、できないと思われたことができたこと、今まであたりまえだと思っていたことの尊さに気づけたこと、そして何より一生懸命にがんばる子どもたちの輝く姿を見られたことは、本当にありがたく幸せであると感じました。今後も子どもたちの輝く姿を引き出せるよう、教職員一同努めてまいります。お支えいただきましたご家庭の皆様、誠にありがとうございました。

「あいさつで心をつなげる」

新型コロナウイルス感染症拡大にともない、なかなか行うことができなかったあいさつ運動を、11月10日(火)から13日(金)まで行うことができました。マスクをし、大声を出すことができない状況ではありますが、子どもたちには、大きな声を出さなくても、笑顔や会釈で挨拶の気持ちを伝えることを大切に日頃より取り組んできました。運動に向けての意識を高めるため、各学級では事前に目標を決め、クラスカードに取り組みを記録しながら、よりよい挨拶への励みとしました。運動期間中には、職員が交代で通学路に立ち、登校指導とともに挨拶を呼びかけました。また、本校の児童会役員、代表委員とともに、本校の卒業生である中学生が毎朝校門にて挨拶を呼びかけてくれ、最終日にはPTA実行委員の皆さんも加わって、笑顔で挨拶を呼びかけてくださいました。

小中学校、地域がひとつになり、あいさつ運動を行うことで、子どもたちは地域に見守られていることを実感し、また、互いの存在を気にかけて合うきっかけとなると思います。今後も保護者や地域の皆さんにご協力をいただきながら、進んで挨拶のできる浅井北っ子を育てていきたいと思っています。

